

読売福祉文化賞 2025年応募要項

● 目的・対象

社会福祉の各分野で創造的な業績をあげ、障害者や高齢者の暮らしやすい環境づくり、自立支援、社会参加の推進や、困難な状況にある子どもたちの支援などに貢献している団体、個人を励まし、豊かな福祉社会づくりの一助とする。特に時代に即した活動をしている人たちを応援していく。

- (1) 公益性ある創造的な事業で、ハンディを持つ方や地域の人々に元気を与え、ネットワークを広げている。
- (2) 個人または団体が生き生きとした活動の場を持てる支援を実践している。
- (3) 福祉の現場において、多様な文化の向上に尽くしている。
- (4) 明確なテーマを持って、目覚ましい実績をあげており、将来も継続、発展が期待できる。
- (5) 活動期間はおおむね5年程度が必要。

● 表彰部門

一般部門 3件（トロフィーと活動支援金各100万円）
高齢者福祉部門 3件（トロフィーと活動支援金各100万円）

● 応募方法

- ① 申請書に記入して事務局へ郵送又はメールでお送りください。申請書は、事業団のホームページからもダウンロードできます。
- ② 海外での活動の場合は、日本人の活動によるものか日本に本拠地を置く団体に限ります。
- ③ 前年度の収支決算書及び今年度の予算書を必ず添付してください。ない場合は準ずるものを提出してください。
- ④ 候補者の活動の実績を示す資料や写真、申請書を補足する資料がありましたら、添付してください。
写真には、上下左右のいずれかに簡単な説明をつけてください。申請書の補足資料はA4サイズ4ページまでとします。
- ⑤ 活動の概要がわかるパンフレットや活動が報道された記事のコピーがあれば、お送りください。

● 応募締切り

2025年9月15日（必着）

● 選考方法

事務局による書類選考、選考委員による個別審査、選考委員会による最終選考で決定します。

〈選考委員（敬称略）〉

安藤雄太（東京ボランティア・市民活動センターアドバイザー）／栗原小巻（女優）

袖井孝子（シニア社会学会会長）／高木憲司（和洋女子大学准教授）

馬場 清（日本福祉文化学会会長）／保高芳昭（読売新聞東京本社編集委員） （2025年7月現在）

● 選考基準

評価ポイントは複合的。大きく分けて以下の点に着目。

- ・ 地域性：地域が抱える課題、特徴、特性に向き合って、地域ニーズを的確にとらえているか。地域の共感を得ているか。
- ・ 継続性：一過性のものではなく、その活動を次に繋げる仕組みづくりに寄与できるか。
- ・ 波及性：その活動がきっかけとなり、他の地域の団体や人々に影響が広がっているか。
- ・ 独自性：活動の内容や方法、理念、思想に独創性、特有性があるか。
- ・ 先駆性：既存の枠組みにとらわれず、新しいアイデアや技術を導入しているか。

一つに秀でているところでも目を引いて高評価に繋がり、上記の複数項目に当てはまっても高評価になりやすいです。

● 選考結果

2025年12月に読売新聞紙上で受賞者を発表し、表彰式を開催予定。オンライン参加はできません。

● 事務局から

- ・ 提出された応募書類（添付資料も含む）は返却いたしません。
- ・ 申請書に記入された内容について、問い合わせをさせていただくことがあります。
- ・ 受賞された方のお名前・団体名・活動内容をホームページや機関紙などで公表させていただきます。
（個人情報などは、責任をもって事業団で管理します）
- ・ 読売グループおよび選考委員の関係者・関係する団体からの応募はご遠慮ください。